

質問順位	4	質問者	福井雅章議員		
件名	項目	要旨		メモ	
1. 市長の基本姿勢	1. 二元代表制における責任の取り方について	<p>1. 市立病院は、経営改善に向けた方策として看護師の初任給を減額する案を打ち出した後に保留としましたが、市の一般職員に対する給与削減等の検討は軽々にすべきではないと考えます。</p> <p>初任給減額等の選択を避けるためには、経営責任者として、市の特別職に対する報酬減額から検討するのが道理であると考えますが、市長の見解を伺います。</p>			
	<p>2. また、この難局に対して議会も覚悟を持って臨むべきであり、苦慮している市立病院に手を差し伸べるためには、議員報酬についても検討が必要であると考えています。首長として議会に協力を求め、病院の窮地を救う考えがあるのかを市長に伺います。</p>				
	2. 市全体の重要課題と位置つけた市立病院について	<p>1. 市立病院は法定外の繰り入れは行わない決意を表明しましたが、自らを律することで選択肢が限定され、より苦境に立つのではないかと憂慮しています。</p> <p>また、経営改善に向けた取り組みを修正したことにも鑑み、病院がより適切な選択肢を得るためには、今以上の支援を早急に検討すべきと考えますが、市長の方針を伺います。</p>			
	<p>2. 昨年、地域医療構想モデル推進区域に選定され、その方針案には「令和8年度以降に取組を加速し稼働させる」とあります。</p> <p>しかし市立病院の困窮は待ったなしの状況と考えており、市は国や道からの支援をいつ頃から見込み、それまで市はどのように病院を支えていくのかを伺います。</p>				

質問順位	4	質問者	福井雅章 議員		
件名	項目		要 旨		メモ
2. 市政運営	1. 第3期滝川市まち・ひと・しごと創生総合戦略について		1. 創生総合戦略には、平成27年に策定された滝川市人口ビジョンの改訂を行わずにそのまま指標にするとあります。滝川市の実情に即した効果的な施策を検討するためには、より現状を反映した指標が必要だと思われれますが、市の見解を伺います。		
	2. 滝川市人口ビジョンについて		1. 滝川市人口ビジョンには「創生総合戦略を策定するにあたり、効果的な施策を企画立案する上で基礎をなす重要な位置づけにある」とありますが、滝川市の独自推計をはじめとした一部において、現状の数値と大きく乖離しているように思われます。本ビジョンを基にどのような整理の上で今後の企画立案をされていくのかを伺います。		
			2. 策定から10年、様々な取り組みが行われてきたと推察します。「本市推計による人口の将来展望」に対して、これまで市が行ってきた施策の結果や効果に対する評価と分析、新たな課題について伺います。		
			3. 「滝川市独自推計の見通しでは、本市の施策による効果が着実に反映され、合計特殊出生率と純移動率が改善されれば、2060年の人口は社人研推計と比較し、約8,000人の施策効果が見込まれます。」とありますが、現時点での施策効果に対する分析について伺います。		

質問順位	4	質問者	福井雅章議員		
件名		項目	要旨	メモ	
3. 病院行政		1. 病床廃止について	<p>1. 経営改善の取り組みに「来年度より115病床の廃止」とありますが、許可病床廃止後の病棟・病室を有効活用するためには、どのような取り組みをしていくのが望ましいのか考えを伺います。</p> <p>また、廃止後の施設を用いて収益が見込める新たな付帯業務の展開等、検討案などがあれば伺います。</p>		
			<p>2. 病床廃止に要する概算費用と廃止後の病棟・病室などに係る保守点検や維持費等の経費は年間いくら位を見込んでいるのかを伺います。</p> <p>また、病床廃止に伴い、多くの余剰備品類等が出てくると思われますが、それらの有効利活用の方策や保管・処分方法について伺います。</p>		